

平成 23 年度 広島大学大学院工学研究科 海外インターンシップ教育事業
ECBO プログラム（技術系学生のアジア海外研修プログラム） 募集要項

1. 事業の概要

【海外インターンシップ教育事業について】

言語・文化・慣習等の壁を超えて日本と海外の長所を融合し、グローバル化時代の新たな問題を解決することのできる国際技術者の育成を目的とした教育事業で、平成 13 年度より開始した「ECBO プログラム」と、平成 18 年度より開始した「海外共同研究」の 2 つから構成されます。

【ECBO プログラム】

毎年約 10 名の大学院生を、海外に進出している日系企業へ 4 週間程度派遣し、インターンシップを実施します。

【海外共同研究】

毎年約 10 名の大学院生を、広島大学海外交流協定校へ 4 週間程度派遣し、共同研究を実施します。

派遣された学生に対しては、単位認定（1 単位）を行います。

両プログラムとも、現地研修だけでなく、事前研修（英語学習・事例研究）と事後研修（PBL 教育）を組み合わせ実施します。

【ECBO プログラムの目的】

アジアの抱える課題あるいは先進的事例に関心を持つ技術系学生を、アジアの企業、工場、事務所、国際機関等に派遣し、技術者としての高い倫理を持った 21 世紀の技術を担う次世代技術者を養成します。プログラムに参加することにより、国境を超えて活躍できるグローバルな技術者、すなわち「国境を超えるエンジニア（Engineers to Cross Borders）」として成長する機会とします。

学生の研修経験をより実効性の高いものとするため、派遣前に講義、英語によるコミュニケーション力向上のための特別指導、国内の母工場の見学などにより十分な事前研修を実施します。現地研修終了後は、参加しなかった学生への知識の伝承、課題意識の喚起をはかるため、工学研究科共通科目「技術移転演習（PBL）」などの科目の中で事後のフォローアップ教育を実施します。

研修修了者には、工学研究科共通科目「海外インターンシップ」の単位認定（1 単位）を行います。

2. 応募資格

以下のすべてに該当する者を応募の対象とします。

- (1) 広島大学の技術系学生で、派遣時に大学院博士課程前期 1 年次生であること。
- (2) 人格に優れ、心身ともに健全であること。
- (3) アジアの抱える課題あるいは先進的事例に深い関心を持っていること。
- (4) 現地研修を遂行するうえで必要な英語能力を有していること。

3. 派遣先ならびに派遣予定人数

フィリピン・中国・タイ・マレーシア等へ、10 名程度の学生を派遣することを予定しています。

4. 研修内容について

研修機関の現場で、補助的役割であるが一定の責任をもちつつ、業務ないしは課題を遂行する。業務や課題の内容は受入機関と個別に協議して定める。研修生は、事前・事後研修を受け、スムーズなプログラム遂行を図るとともに、成果をより確実なものとする。

区分	課題内容
事前研修	<ul style="list-style-type: none">・本プログラムの趣旨理解と準備教育・国際環境、研修実施国の国情、経済、市民生活などに関する一般的学習・5 研究科共通講義「技術移転論（MOT-4）」の受講（必修）・国際協力研究科（IDEC）開設科目「能力開発特論（ディベート演習）」もしくは先端物質科学研究科開設科目「コミュニケーション能力開発特論」の受講（要望）

	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語教育研究センターが開催する英語研修プログラム「Power point Oral Presentations in English」の受講（必修） ・「e-learning Newton TLT（完全習熟トレーニング専用プログラム）」による英語学習（必修） ・「安全教育（リスク管理セミナー）」の受講（必修） ・「派遣前最終報告会」での発表（必修） ・その他，必要に応じて求められた課題等
現地研修	<p>【現地研修の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修機関で与えられた業務ないし課題を，責任をもって遂行する。 ・研修として遂行する業務・課題や研修機関全般などについて，研修機関にとって有益を思われる改善事項を考える。 ・現地研修の成果は，中間・最終発表を通じて，現地の技術者と世話教員の前で報告を行う。 <p>【研修期間】 平成 23 年 8 月下旬から 9 月下旬までの 4 週間程度。ただし，研修先の都合により変更になることもある。</p>
事後研修	<ul style="list-style-type: none"> ・「帰国報告書」の提出（必修） ・工学研究科共通講義「技術移転演習（PBL）」の受講（必修） ・「最終報告会」での発表（必修） ・「最終報告書」の作成・提出（必修） ・その他，必要に応じて求められた課題等

※研修課題については，授業等の開講状況により変更となる場合があります。

5. 応募手続について

【応募申請書類受付期間】

平成 23 年 4 月 11 日（月）から平成 23 年 4 月 15 日（金）17 時まで（必着のこと）

【応募申請書類提出先】

広島大学大学院工学研究科学生支援グループ（国際事業担当）

〒739-8527 広島県東広島市鏡山一丁目 4-1

Tel 082-424-4361,3503 Fax 082-424-5461

E-mail kou-gaku-daigakuin@office.hiroshima-u.ac.jp

【応募書類等】

・応募申請書	所定の様式を使用してください。
・志望理由書	所定の様式を使用してください。
・TOEIC®スコア証明書（写し）	最新の TOEIC®スコアを提出してください。 ※現地研修開始までに TOEIC®500 点以上を取得することを派遣の条件とします。

6. 派遣学生選考方法について

派遣学生の選考は，第 1 次選考と最終選考に分けて実施します。

【第 1 次選考】

第 1 次選考は，応募学生全員に対し，書類審査（志望理由書）を実施し，採点結果に基づき選考します。

第 1 次選考結果通知日：平成 23 年 4 月 27 日（水）

※応募学生全員に対し，メールにて通知します。

【最終選考】

最終選考は，第 1 次選考の合格者に対して実施する「個人面接」と「英語プレゼンテーション」の採点結果に加えて，書類審査（志望理由書）の採点結果，TOEIC®スコア（500 点以上を派遣の条件とします。）ならびに事前研修への取り組み状況を考慮して，総合的に選考します。

試験実施日時ならびに試験内容：

日時	試験内容
6 月 2 日（木）	個人面接： 志望動機，派遣に対する意欲，派遣に向けての準備状況等に関する試

	問を行います。
6月3日(金)	英語プレゼンテーション： 英語によるプレゼンテーションならびに質疑応答を行います。 ※プレゼンテーションの内容については、別途お知らせします。

最終選考結果通知日：平成23年6月10日(金)

※最終選考受験学生全員に対し、メールにて通知します。

7. 平成23年度 説明会・選考会等実施スケジュール

平成23年度の実施スケジュールを以下に示します。

日 時	項 目
3月2日(水)	平成22年度派遣学生 最終報告会： ※前年度派遣学生の研修内容を知る機会となりますので、可能な限り出席してください。
4月8日(金)	応募希望者向け説明会： プログラムの概要と、応募にあたっての注意事項の説明を行います。
4月11日(月) ～ 4月15日(金)	応募受付期間： 応募希望者は、所定の書類を工学研究科学生支援グループ(国際事業担当)あてに提出してください。
4月27日(水)	第1次選考結果通知
5月13日(金)	派遣候補学生説明会： 第1次選考合格者を対象に、以下の説明を行います。 ・最終選考(個人面接・英語プレゼンテーション)について。 ・事前研修(英語 e-learning 等)の受講について。
6月2日(木)	最終選考会(個人面接)
6月3日(金)	最終選考会(英語プレゼンテーション)
6月10日(金)	最終選考結果通知
6月24日(金)	派遣説明会： 最終選考合格者を対象に、以下の説明を行います。 ・派遣にあたっての各種注意事項について ・海外旅行障害保険への加入について ・派遣前最終報告会について
6月下旬(予定)	安全教育(リスク管理セミナー)： 詳細な開催日時・場所等については、決定次第別途お知らせします。
8月上旬(予定)	派遣前最終報告会： ※派遣開始時期が早い者については、前もって実施します。
8月下旬～ 9月下旬	現地研修(4週間程度)
10月～	事後研修開始
3月上旬(予定)	最終報告会

※日程等については、都合により変更となる場合があります。

8. 経費負担

学生派遣に必要な経費(交通費・宿泊費・海外旅行障害保険等)については、5万円を学生の自己負担とし、残りについては工学研究科(または受入れ機関)が負担します。

9. 傷害保険等への加入について

応募学生には不測の時代に備え、「学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)」ならびに「学研災付帯賠償責任保険(略称「学研賠」)」への加入を義務づけています。また、最終選考に合格した派遣学生には、上記に加えて「海外旅行傷害保険」への加入を義務づけております。

10. その他注意事項

- ・派遣先の諸規則、及び受入れ担当者の指示・命令を遵守すること。
- ・派遣先の担当者が、正当な理由から研修を続行することができないと判断した場合には、

- 広島大学の担当教員と協議のうえ、研修の中止ならびに途中帰国を指示することがある。
- ・現地の治安情勢に十分注意し、責任ある行動を取ることを。
 - ・派遣国・地域等の治安状況等により、派遣先における安全が確保できないと判断した場合には、派遣の中止あるいは途中帰国を指示することがある。

11. 問い合わせ先

広島大学大学院工学研究科 教授 濱田邦裕
Tel: 082-424-7772 Fax: 082-424-7194
E-mail: hamada@naoe.hiroshima-u.ac.jp

広島大学大学院工学研究科学生支援グループ（国際事業担当）
〒739-8527 広島県東広島市鏡山一丁目 4-1
Tel 082-424-4361,3503 Fax 082-424-5461
E-mail kou-gaku-daigakuin@office.hiroshima-u.ac.jp

ホームページ：

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/eng/IAS-J/internship/index.html>

【参考：G.ecbo（グローバルインターンシップ）プログラムについて】

「G.ecbo（グローバルインターンシップ）プログラム」は、広島大学全体で企画・運営される海外インターンシッププログラムであり、工学研究科における「ECBOプログラム」とは相互に関連しております。

G.ecboについて詳しく知りたい場合には、以下のホームページをご覧ください。

(G.ecbo ホームページ <http://www.hiroshima-u.ac.jp/gecbo/index.html>)